

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	1	選択（教職選択）
担当教員			
富田 寿人・鈴木 満也・村野直弘			
添付ファイル			

講義概要	サッカー、バスケットボール、テニスの中から、興味のあるスポーツを1つ選択し、社会人となってからも生涯楽しめるスポーツに出会い、さらに体力的にも技術的にも能力を高めることを目的として授業を展開する。授業は、3名の教員で担当する。1時間目のガイダンス時に、学生はそれぞれの教員が担当するサッカークラス、バスケットボールクラス、テニスクラスかのいずれかを選択する。原則、途中でのクラス変更は認めない。		
授業計画	1	ガイダンス サッカー、バスケットボール、テニスのいずれかへの クラス分けと諸注意	
	2	基礎① サッカー：パスとトラッピング バスケ：パスとドリブル テニス：ラケットの扱い 動きの確認についてAL①を行う	
	3	基礎② サッカー：複数人でのパス バスケ：シュートと 対 テニス：フォアハンド ① 動きの確認についてAL①を行う	
	4	基礎③ サッカー：シュートとディフェンス バスケ：ゾーンディフェンス テニス：フォアハンド ② 動きの確認についてAL①を行う	
	5	基礎④ サッカー：フォーメーションプレー バスケ：ゾーンオフense テニス：バックハンド ① 動きの確認についてAL①を行う	
	6	ミニゲーム ① サッカー、バスケ：チームディフェンス テニス：バックハンド ② 動きの確認についてAL①を行う	
	7	ミニゲーム ② サッカー、バスケ：チームオフense テニス：ボレー ① 動きの確認についてAL①を行う	
	8	リーグ戦 ① サッカー、バスケ：リーグ戦 ① テニス：ボレー ② ゲームの評価についてAL①を行う	
	9	リーグ戦 ② サッカー、バスケ：リーグ戦 ② テニス：ダブルスリーグ戦 ① ゲームの評価についてAL①を行う	
	10	リーグ戦 ③ サッカー、バスケ：リーグ戦 ③ テニス：ダブルスリーグ戦 ② ゲームの評価についてAL①を行う	

	11	リーグ戦の振り返り サッカー、バスケ、テニス： 前半戦のリーグ戦を振り返り評価と今後の対策を立てる AL①を行う
	12	リーグ戦 ⑤ サッカー、バスケ：リーグ戦 ① テニス：ダブルスリーグ戦 ① ゲームの評価についてAL①を行う
	13	リーグ戦 ⑥ サッカー、バスケ：リーグ戦 ② テニス：ダブルスリーグ戦 ② ゲームの評価についてAL①を行う
	14	リーグ戦 ⑦ サッカー、バスケ：リーグ戦 ③ テニス：ダブルスリーグ戦 ③ ゲームの評価についてAL①を行う
	15	総括と実技テスト 総括と実技テスト
授業形態	実技 アクティブラーニング：①：13回，②：0回，③：0回，④：0回，⑤：0回，⑥：0回	
達成目標	1. 専門的な知識や技術の習得をしている 2. 基礎体力の向上があった 3. ルールを守り、スポーツを楽しむ姿勢を習得している	
評価方法・フィードバック	実践活動50点、取り組み20点および実技テスト30点として評価する。フィードバックとしては、実技中または実技後に技術指導を行う。	
評価基準	評価点が100～90点で目標3項目達成であれば「秀」、89～80点で目標3項目達成であれば「優」、79～70点で目標2項目達成であれば「良」、69～60点で目標2項目達成であれば「可」、59点以下であった場合は「不可」とする。	
教科書・参考書	教科書：特になし 参考書：特になし	
履修条件	スポーツ1 の単位を取得していること。	
履修上の注意	施設に限りがあるので希望者が多かった場合には、抽選を行うこともある。 女子は、テニス・クラスを選択することが望ましいと考える。	
準備学習と課題の内容	事前にルールなど、実技に関する知識を学習しておくこと。（予習復習それぞれ1.5時間程度）	
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解：10％，思考・判断：20％，関心・意欲：30％，態度：10％，技能・表現：30％	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		